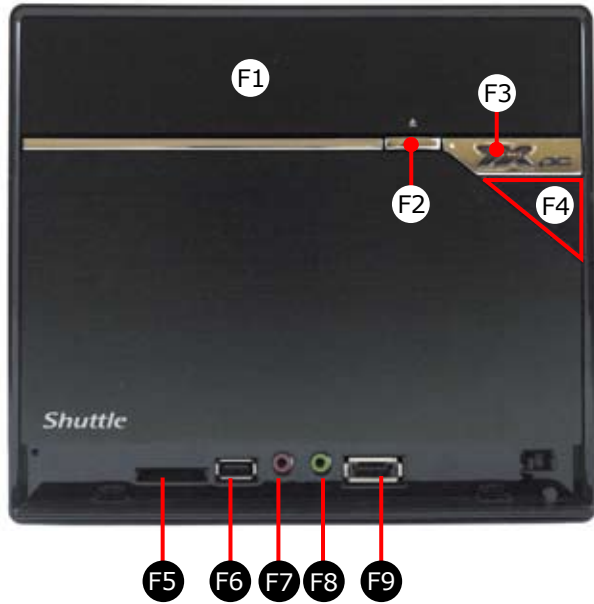


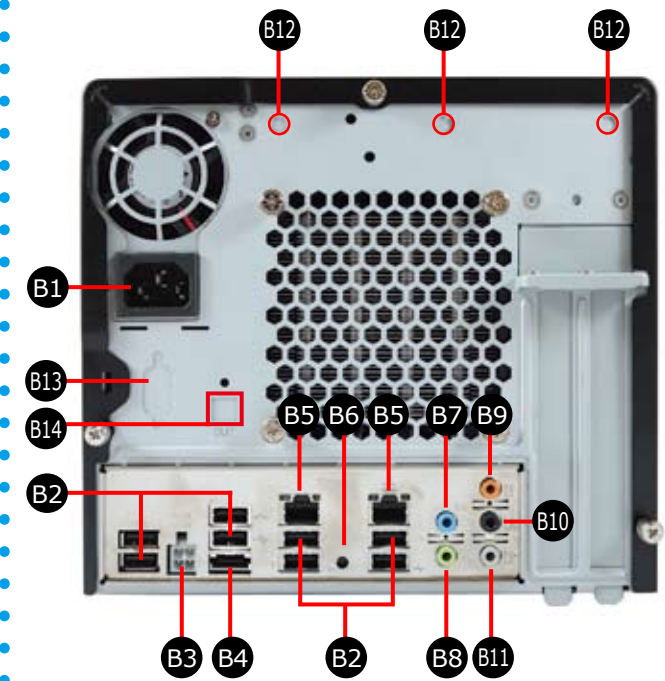
SX58J3 クイックガイド【日本語】

正面パネル



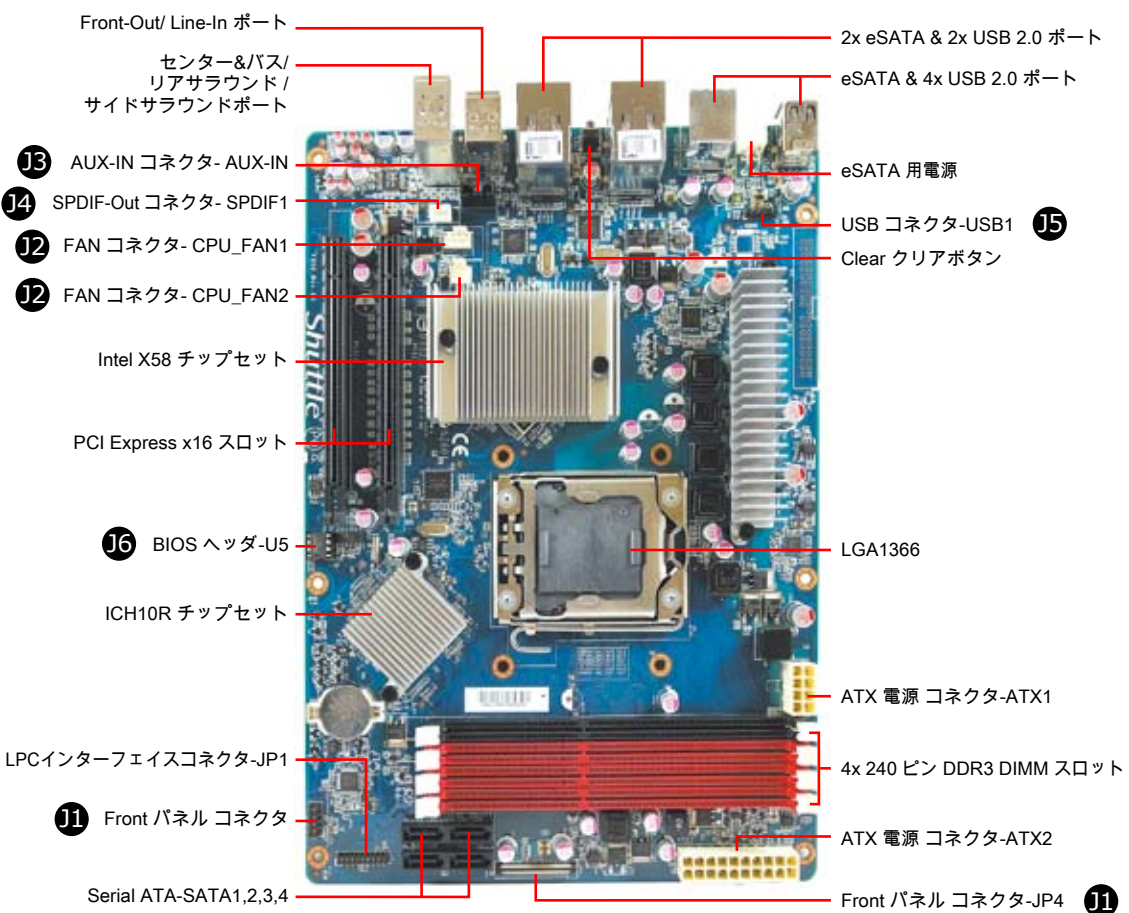
- F1. 5.25" インチベイ
- F2. 取り出しボタン
- F3. 電源スイッチ / 電源LED
- F4. HDD LED
- F5. 4-in-1 カードリーダー (SD/MMC/MS/MS Pro.)
- F6. USB2.0 ポート
- F7. マイク
- F8. イヤホン
- F9. eSATA+USB2.0 ポート

背面パネル



- B1. AC 電源ソケット
- B2. USB2.0 ポート
- B3. eSATA 電源ポート
- B4. eSATA ポート
- B5. LAN ポート
- B6. クリアCMOSボタン
- B7. Line-In ポート
- B8. フロントアウト(L/R)ポート
- B9. センター/バススピーカーポート
- B10. リアサラウンドスピーカー (L/R) ポート
- B11. サイドサラウンド(L/R)ポート
- B12. ワイヤレスLANキット追加用(オプション)
- B13. シリアルポート追加用(オプション)
- B14. SPDIF アウトポート

メインボード図

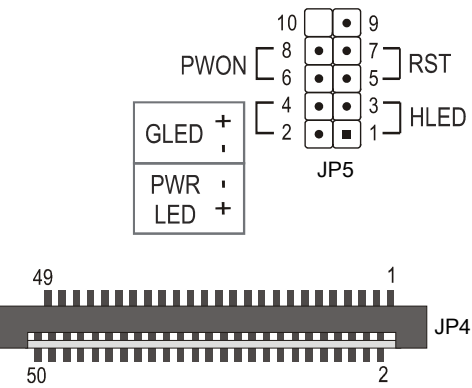


ジャンパ設定

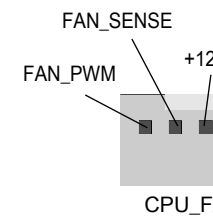
11 Front パネル コネクタ

ピン割り当て (JP5):

- 1=HDLDPWR
- 2=GRNLEDA
- 3=-HD_LED
- 4=GRNLEDB
- 5=BT_SEL
- 6=-PWRSW
- 7=GND
- 8=GND
- 9=NC
- 10=KEY

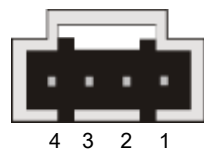


12 Fan コネクタ



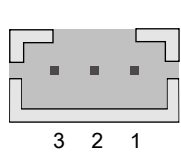
13 AUX IN コネクタ

- ピン割り当て (AUX_IN1):
- 1=AUX_IN_L
 - 2=Ground
 - 3=Ground
 - 4=AUX_IN_R



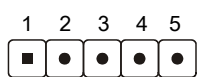
14 SPDIF-Out コネクタ

- ピン割り当て (SPDIF1):
- 1=Ground
 - 2=VCC
 - 3=SPDIF_O



15 USB コネクタ

- ピン割り当て (USB1):
- 1=Ground
 - 2=Ground
 - 3=D+
 - 4=D-
 - 5=VCC



16 BIOS ヘッド

- ピン割り当て (U5):
- 1=SPI_CS0
 - 2=SPI_MISO
 - 3=SPI_WP-
 - 4=GND
 - 5=SPI_MOSI
 - 6=SPI_CLK
 - 7=SPI_HOLD-
 - 8=SPI_VCC

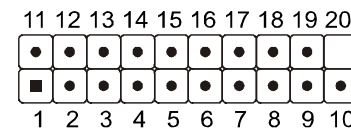


17 LPC interface コネクタ

ピン割り当て (JP1):

- 1=+12V
- 2=5V
- 3=5V_Dual
- 4=SERIRQ
- 5=48M_clk
- 6=LPC_clk
- 7=STORST-
- 8=LFrame-
- 9=LAD3
- 10=LAD2

- 11=+12V
- 12=3VSB
- 13=RI-
- 14=LDRQ0-
- 15=-SIO_PME
- 16=LAD1
- 17=LAD0
- 18=3V
- 19=Ground
- 20=NA



安全に関する情報

Shuttle XPC. をセットアップする前に、次の注意事項をお読みください。

注意

バッテリーを間違えてセットすると、このコンピュータが損傷する原因となります。交換する際は、Shuttleが推奨するバッテリーと同じもの、または同等のものだけを使用するようにして下さい。使用済みバッテリーは、メーカーの指示に従って処分して下さい。

レーザー準拠声明

このPCの光ディスクドライブは、レーザー製品です。

ドライブの認証ラベルは、ドライブに記載があります。

クラス 1 レーザー製品

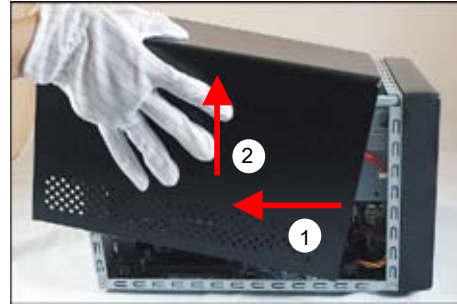
注意：開けると不視可レーザーが照射されます。

光線の暴露を避けて下さい。

A. 取り付けの開始

安全のため、ケースを開ける前に電源コードを外していることを確認してください。

- シャーシカバーの3本のネジを抜きます。
- カバーを後ろと上方向にスライドさせます。

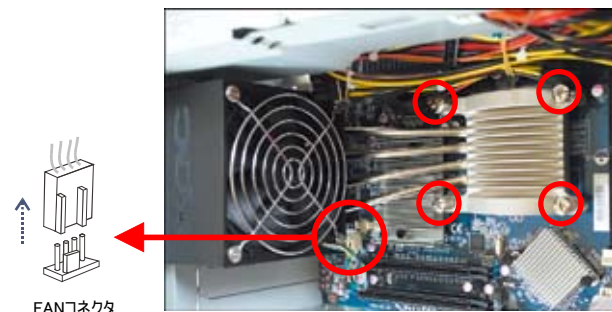


- 図の通りベイヤマウントのネジを取り外します。ベイヤマウントを取り外します。



B. CPUとICEの取り付け

- シャーシ背面のICEファンネジを外し。
- FANコネクタを取り外し、ICEモジュールにあるネジを外します。



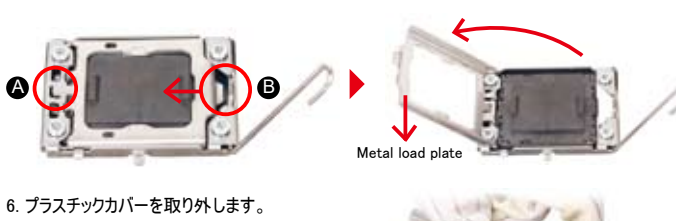
- ICEモジュールを引き上げるように引き上げるようにして取り外します。

1366ピンソケットは非常にデリケートなため、簡単に破損してしまいます。CPUを取り付ける際は、必ず細心の注意を払っていただきますようお願い致します。またCPU設置の際は、必ず電源をOFFにし、ケーブルが抜けている事を。

確認してから作業を行うようお願い致します。

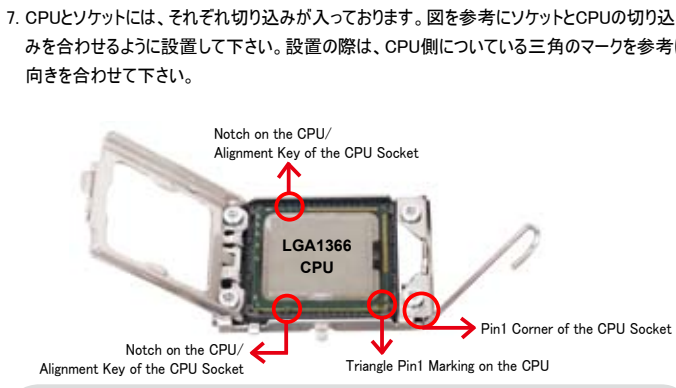
- 将插指ラベル解鎖並上提起。

- A を部位を押しながら、B 部分を引き上げて下さい。



- プラスチックカバーを取り外します。

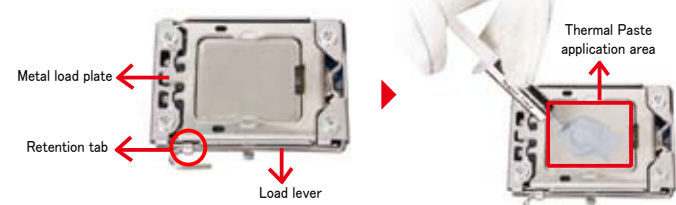
ソケット内部には絶対触らないでください。CPUを設置しない場合は、保護の為にプラスチックカバーを取り付けるようお願い致します。



CPUの設置には細心の注意をお願い致します。力強く差し入れるとCPU及びソケットの損傷につながります。

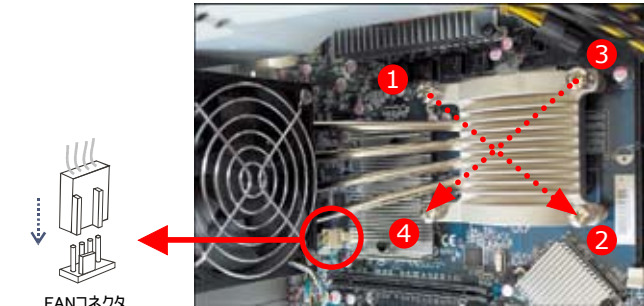
- 金属板を閉じ、レバーを下して固定します。

- CPUの表面に熱伝導グリスを塗布します。

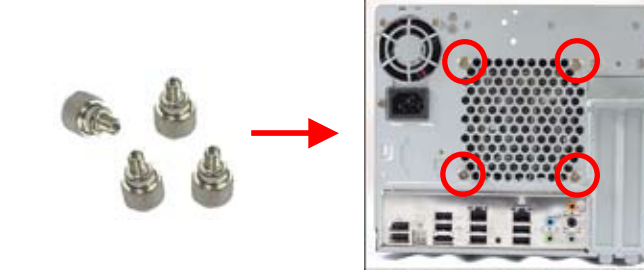


塗りすぎないように注意して下さい。

- マザーボードへ差し入れたネジを締めます。それぞれ押し込むようにしながら締めるようにします。
- FANコネクタへコネクタを接続します。



- ケース背面の4つのネジを締めます。



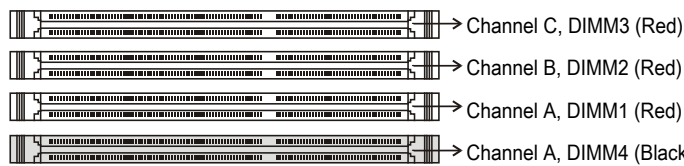
C. メモリーの取り付け

ガイドライン

メモリを取り付ける前に、必ずお読み下さい

マザーボードに対応しているメモリーである事を確認して下さい。使用するメモリーは同一製品である事を推奨致します。(対応製品は弊社ウェブサイトでご確認下さい。)メモリーは、誤って挿し入れない様に切り込みが入っています。もし上手く挿し入れられない場合は、切り込みを確認して下さい。

本製品は、DDR3メモリーを使用します。デュアルチャンネル、トリプルチャンネルに対応している為、メモリーの設置後、BIOS側で自動的に認識し動作するようになっています。メモリーの設置方法により、シングルチャンネル、デュアルチャンネル、トリプルチャンネルとして、それぞれ動作致します。図を参考にメモリーを設置します。



シングルチャンネルモードの設定

Mode	Sockets			
	DIMM1 (Red)	DIMM2 (Red)	DIMM3 (Red)	DIMM4 (Black)
Single Channel	DS/SS	--	--	--
Dual Channel	DS/SS	DS/SS	--	--
Triple Channel	DS/SS	DS/SS	DS/SS	--
Triple Channel	DS/SS	DS/SS	DS/SS	DS/SS

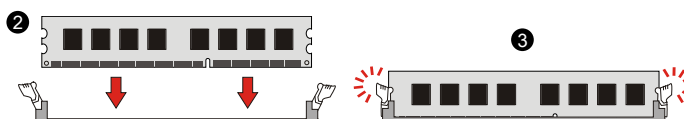
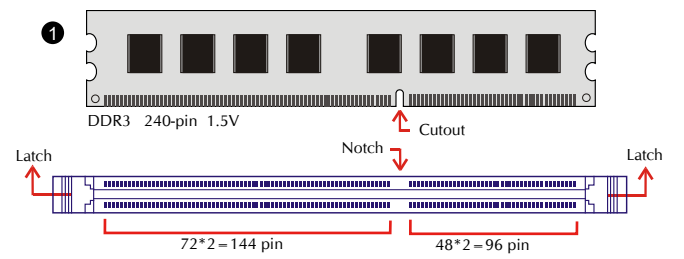
(SS=Single-Sided, DS=Double-Sided, "--=No Memory)

メモリーの取り付け

DDR3 とDDR2メモリーは、互換性がありません。メモリーを取り付ける際は、かならず対応しているメモリーである事を確認して下さい。

- DIMMのロックを外します。
- メモリーの切り込み位置を確認し、メモリーを挿し入れます。

DDR3メモリーの向きを間違えると、挿し入れる事はできません。



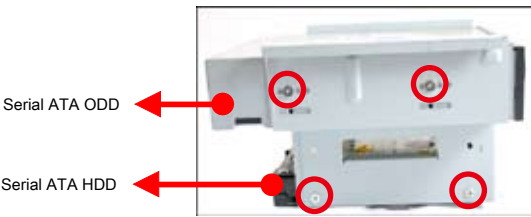
- 挿し入れると、ロックがかかります。



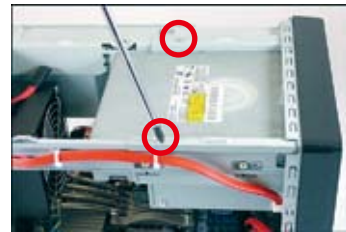
メモリーを追加する際は、同作業を繰り返して下さい。

D. 周辺機器の取り付け

- 結束されているHDD電源ケーブルを取りだします。
- HDDをベイヤマウントに設置し、ネジを側面より締めます。



- ベイヤマウントを取り付け、ネジを締めます。



- シリアルATAケーブル及び電源ケーブルを HDDへ接続します。



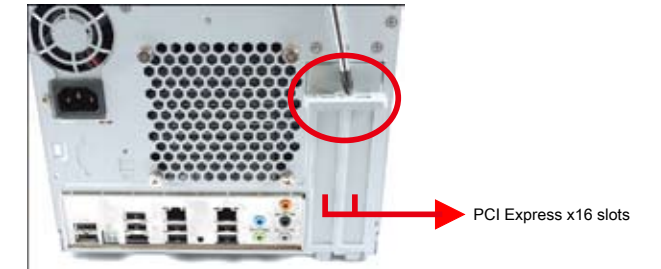
- 光学ドライブにシリアルATAケーブルと、電源ケーブルを接続します。



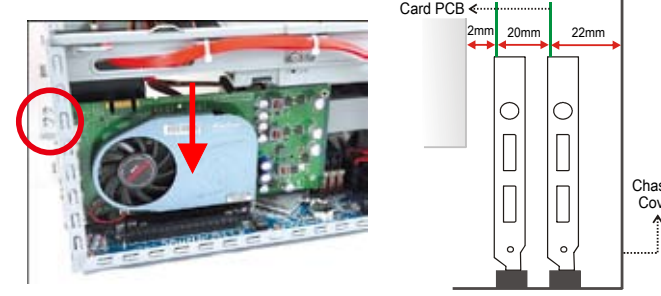
E. アクセサリの取り付け

- ブラケットのネジを外します。ブラケット上部にある蓋を上げて、ブラケットを取り外します。

搭載可能なカードサイズは、273mm x 98mm x 38mmまでです。追加したい場合は、同作業を繰り返します。

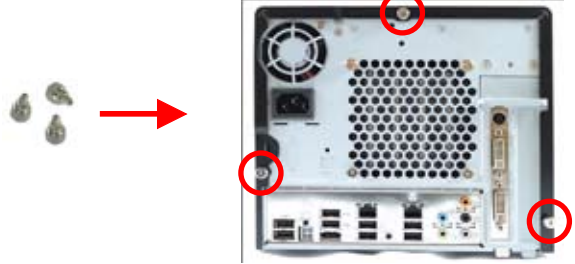


- 図にある通り、PCI Express x16ビデオカードを挿し入れ、電源ケーブルを接続します。
- ブラケットを締めます。



F. 完了

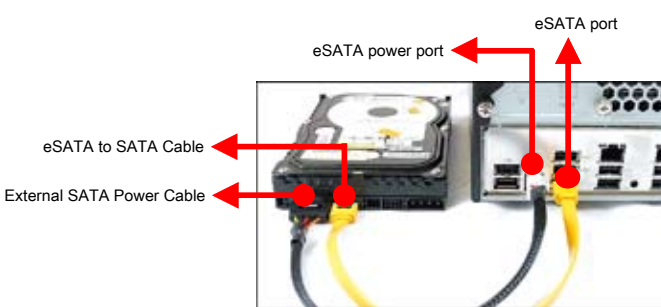
- カバーを戻し、ネジを締めます。



BIOS画面より Load the optimized BIOS を設定して下さい。

G. eSATA HDD の設置

- eSATA-SATA変換ケーブルと、電源ケーブルをアクセサリ箱より取り出します。
- eSATA-SATA変換ケーブルを、eSATAポートへ接続します。電源ケーブルを電源ポートへ接続します。
- eSATA-SATAケーブルと電源ケーブルをHDDへ接続します。



製品の色及びスペックは、実際と異なる場合がございます。